

日本の農業を救う

カリスマ

連載②

千葉県市川市 牛かうVaca社長
葉すい 馬の上 温香さん

千葉県の南東部のいすど季節のものが登場する。市・高秀牧場にある。

エラート店とチーズ工房 「土日は小さいお子さん「牛かうVaca」が人を運んだファミリー層が多いです。平日は大人世代だ。

店名は「牛、cow、Vaca（スペイン語で牛）」から。搾りたてのミルクからのチーズやシエラートを購入できて、

エラートを購入できて、長、馬上温香さん(33)のどかな風景の見える店はそう話す。温香さんは内とテラスでは、ピザや高秀牧場の牧場主の高橋スイツやケーキなどが憲二・奈緒美夫妻の長女食べられる。シエラートである。

は近隣農家で育てられたブルーベリー、イチゴ、170頭を飼育。東京ド柿、イチジク、トマトな1ム5つ分、約23万平方

材(約7万坪)の広さだ。葉エコ・エネルギー株式と飲食店への卸と通販。田畑で飼料を作り、牛の会社代表取締役。ソーラ糞は発酵させて堆肥や肥しエアリングの推進活の返礼品にもなっている。料に使う循環型の取り組動ではよく知られた人。みが行われている。牧場だ。

は高橋夫妻と両親、長男 牛かうVacaの年間搾りやバター作りの体験・大地さんとスタッフ6 売り上げは6000万 教室を開き多くの人が訪人で運営されている。円。正社員4人でアルバれる。また学校へ牛と結婚している温香さん イト13人が働く。千葉駅農のことを紹介する食育活動「モーモースクール」

牧場と農家を結びつけたのは ジエラートだった



左から長男の高橋大地さん、高橋憲二さん、馬上温香さん

牧場では月2回ほど乳搾りやバター作りの体験教室を開き多くの人が訪れる。また学校へ牛と農のことを紹介する食育活動「モーモースクール」

欲しいと連絡があり帰国からおとうと、シエラート工した。さらに牧場のことを房を両親に提案して牛か親しみやすく知ってもうVacaは誕生した。**酪農家は平均で1日2戸廃業している**

日本の酪農運営は厳し 温香さんの将来の夢は、一般社団法人中央酪農会議「酪農全国基礎調 農村観光につなぐことだ 査」(2018年)によるという。

1万5700戸まで減らうちは農業体験はいくらか。年間約700戸(1でも提供できる。この辺りに約2戸)の廃業が続りにはヒー・アンド・ピっている。また顔代が高ーなど民泊がたくさんあ騰している。多くの畜産と連携できるといういな

の餌は輸入に頼っている 最近、いすみ市は環境が、コロナ以降、2割近くも上昇した。さらにコロナで業務用のミルクの需要が減り、全国的に苦しい環境にある。移住者も増えている。若い後の地域づくりが期待されている町だ。新たな農村観光が生まれる可能性を大いに秘めている。

後には現地の飲食店で働いて、付加価値の高い直販のチーズやシエラートの展開を始めたわけだ。(取材・文 川丸弘美) 水曜掲載